

にしき丘

編集発行 苫高専 新聞局
発行責任者 加藤 桃子



目次

一面
二・三面
四面

校長先生インタビュー
系の特徴、学年アンケート
盗難事件

校長先生 インタビュー

第四次産業革命とも言われている現在、一つの専門だけではなく他にも一般教養や幅広い分野の知識、リベラルアーツを有する人材がぞまれている。

Q 1. 1学科5系制のねらい

A 1. 専門一つだけでなく、幅広い様々な分野のことを知っている人材育成がねらい。一年間かけて数種類の分野を学ぶという機会を設けることが出来た。自分の興味のある分野だけでなく他の分野も見て欲しい。

Q 2. この体制の成果
A 2. 成果というのは学生が社会

Q 3. 苦小牧高専生に求められていること

A 3. リベラルアーツにも興味を持ち、一般教養などの当たり前のことを知って技術者になってほしい。そして様々な要素を考えながら物事を進めることが出来る社会人へとなれるよう学校としてもバックアップする。

誰でも校長室にきて話してもらえたら嬉しいとのことでした。

フロンティアコースとは

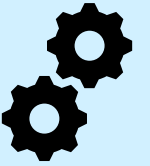
コミュニケーション力、ビジネス、リベラルアーツなどを学び、総合力を養うコース

※リベラルアーツとは、

現代では、「学士課程において、人文科学・社会科学・自然科学の基礎分野 (disciplines) を横断的に教育する科目群・教育プログラム」に与えられた名称のこと

創造工学科 各系アピール

機械系



力やエネルギーのようにあらゆる分野の基礎となることを学ぶ。そのため進路がどこであろうと学んだ知識が役に立つ点が強みである。就職先は機械系に限らず食品系や科学系など様々で他系と比較しても多い。個性豊かな専門の先生や、技術職員の方々がいる。性質の異なる多くの大人と相互に理解し合えることは社会に出て活動する上でとても大切なことだ。

都市・環境系



土質力学や構造力学、水理学といった社会基盤の基礎を学ぶ。グループでの屋外実習や実験が多い。そのため系全体的にクラスの団結力が強い。進路先には企業のみならず、市役所といった他にはあまり見られない公務員の道もある。

応用化学・生物系



色々な分野の基礎化学から応用化学まで幅広く学ぶ。低学年のうちから実験が他の系より多く、1テーマが数か月に渡るものもある。4年生から材料と生物コースに分かれ、4年後期から卒業研究室に配属し早い段階から研究を行うことが出来る。化学系だけでなく農学系や医療系、薬学系といった多分野の進路がある。

電気電子系



現代社会のあらゆる分野で必要不可欠な電気電子技術を幅広く学ぶ。卒業後は電気エネルギー分野をはじめとして、通信、放送、交通、プラント、制御、食品、医療分野など多種多様な分野で活躍できる。経験豊かな先生方が在籍し、学生を親身にサポートしてくれる。

情報科学・工学系



ソフトを語るためにはハードを知らなければならぬという精神の下、幅広い知識を学ぶ。パソコンを用いた授業が多く、卒業までに複数のプログラミング言語を習得する。学生想いの先生が多く対応が丁寧である。ほぼ全員が基本情報技術者試験などの資格を受けるため、自分で専門の知識を深めることが出来る。

1年生の印象

入学から一年が経ちどのような印象を抱いたのか、当局は一月末に一年生の各クラスでアンケートを実施した。結果は次の通りである。

①高専に入学して今、楽しいか

「はい」の回答が多数だった。

②入学前の印象

「頭が良い」「勉強が難しそう」

「女子が少なそう」との意見が多かった。

③入学後の印象

「自由」「勉強が意外と簡単」「女子が想像より

多かった」など入学前に抱いていた印象と反対の

意見が多かった。しかし一方で「イメージ通り

だった」との意見もみられた。

④各系の印象

機械系…「レポートが少ない」「明るい人が

多い」「実習が多い」

都市・環境系…「楽しそう」「活動的な人が多い」

「外の実習が大変そう」

応用化学・生物系…「女子が多い」「レポートが多

い」「白衣かつこいい」

電気電子系…「就職率が高い」「面白そう」

「レポートが多い」

情報科学・工学系…「プログラミングがすごい」

「オタクが多い」

⑤各系の選択においてもっと

知りたかったこと

「先輩からもっと話を聞きたかった」「就職先」

「詳しい勉強内容」などの意見が多かった。

そんな中「何も知らない方が良かった」との意見もあつた。

アンケートから一年生が全体的に好印象を持って
いることが分かった。今後の系選択に活かしてもら
いたい。

盗難事件

昨年十月から十二月まで校内で盗難事件が発生した。この事件は記憶に新しい人も多いだろう。事件の詳細ともにも、学生主事補の中島先生に話を伺った。

件数十六件、総額約十二万円の被害報告がされているが、実際はさらに多くの被害が出ていると考えられる。

また犯人は人が出払った教室などに放置されているかばんの中の財布から現金を抜き取っている。しかし手口のみで断定できず、犯人がグループや複数の単独犯の可能性も視野にいられている。犯人として学生のみならず本校に関わる様々な人を疑わなければならぬ。防犯に努めるため今後防犯カメラを導入することを検討している。

このような残念な事件をなくすためにも一人一人が防犯意識を持ち、事故管理を徹底するほかにない。教室は整理整頓さ
れているだろうか。教室の使用法の注意を始めてから、盗難被害の報告は減少している。

学生はまさか自分が被害にあうことはないだろうと考えるのではなく、盗まれるのではないように心掛けることがとても大切である。

また今年度は問題が発覚し停学等に処分された学生が複数人出たようだ。

近年はSNS上の投稿で問題が拡大しているケースが多いそうだ。そのなかでも特にツイッターでの問題が多いらしい。便利だがその反面誰に見られているのかわからない怖さもある。利便性と危険性は表裏一体である。利用者にはそのことを常に念頭に置いてもらいたい。

局員紹介

局長	A 3	加藤 桃子
局員	S 4	前田 豪太
	M 4	伊南 拓飛
	K 3	及川 友雅
	J 3	山田 しおり
	M 3	井内 智
	2 3	大西 漠
	1 1	宮崎 洋輔
	1 2	高橋 幸成
	1 3	秋田 直哉
	1 4	安藤 隆浩
	1 5	館山 侑季
顧問	赤塚 元軌先生	

編集後記

ご協力いただいた校長先生をはじめ先生方、またアンケートに答えてもらった1年生のみなさんありがとうございました。

無事にしき丘を発行することに至りました。今後新聞局としては、配布方法を変更するなどさまざまな改善を加え学生のみなさんに読んでもらえ、役にたてるような新聞づくりを目指していきます。そのためにも指摘や助言などしていただけたら幸いです。